警察署協議会議事概要

協議会名	神奈川県津久井警察署協議会
日　　時	令和６年７月10日（水）午後２時00分から午後４時00分まで
場　　所	神奈川県津久井警察署
出 席 者	１　警察署協議会側 長谷川　兌、中戸川　玲子、小室　美代子、山下　いずみ、関　みどり 山下　利麿、相川　知昭 計７人 ２　警察署側 署　　長　佐藤　宏文、警務課長　岡田　陽介、交通課長　塚本　善治 警備課長　宮﨑　洋一、刑事課長　嶋村　実、　地域課長　大里　快路 会計課長　藤本　紀子　生活安全課長　久保　武次 計８人
議事要旨	警察署協議会からの答申等に対する措置結果の説明 「薬物事犯の諸対策について」 １　答申 ・　若者の薬物使用が増えていることから、学校等に対して継続的に薬物教室を開催して欲しい。 ・　管理者対策（キャンプ場・公園等）をしてもらいたい。 ・　イベント・キャンペーン等での広報活動を引き続きしてもらいたい。 ２　措置結果 ・　６、７月を薬物乱用防止広報強化期間に指定し、官民一体となった防止活動を実施。 ・　管内所在の小・中・高等学校に対する「スマートフォンやインターネットのコミュニケーションツールを賢く便利に使う」講義の中で薬物依存の危険性の啓発活動を実施。 　また、社会見学として来庁した小学生・職員の皆さんに対して「非行防止・ネットトラブル防止・薬物依存の危険性」等の啓発活動を実施。 ・　新戸キャンプ場の管理者に対して「若者を中心に大麻が広がっていること」、「緊急搬送された事案があったこと」等を伝えると驚いており、改めて管理者対策を実施し、利用者に対してもチラシを配り協力依頼を実施。 ・　帝京大学野球部学生寮に赴き、寮長に対して過去の「東海大学野球部・日本大学アメフト部の大麻使用事案」等の例を挙げ、薬物依存の情報提供を行うともに、寮生に対してもチラシやグッズの配布を実施。 ・　「国際麻薬乱用撲滅デー」に合わせて、管内所在の「サンドラッグ中野店」においてキャンペーンを行い、チラシやグッズの配布を行う啓発活動を実施。 ・　今後の予定として、管内所在の県立津久井高校において薬物乱用防止教室を開催し、その際、委員会の皆さんから情報提供を受けた「相模原ダルク」から関係者を講師として迎える準備を行っている。 諮問 「優秀な人材確保に向けた効果的な採用活動の推進について」

	答申
	1　警察組織の魅力をアピールする 2　引き続き効果的な広報活動を実施する
	業務説明
	前四半期（４月から６月まで）の業務推進結果と今四半期（７月から９月まで）の業務推進重点について説明を行った。
	協議会からの要望・意見等
	優秀な人材確保は大変ですが「人脈を活用し、人材を確保すること。また、警察官一人一人がリクルーターである」という気持ちを持つことが大切だと思います。
備　考	視察
	実施なし。